

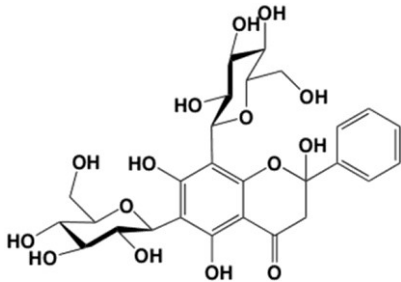
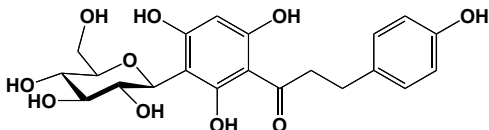
サプリメント向け新規有効成分の製造

配糖化酵素、及びそれを利用した糖で二置換されたC配糖体の製造方法

技術分野分類 2501：生体分子化学

技術キーワード (2)：二次代謝産物

産業分類 E-09 食料品製造業

内 容	概 要	配糖体は、糖以外の基質と、単糖又はオリゴ糖とが結合した成分群をいう。配糖体のうち、基質の炭素原子に糖の炭素原子が直接共有結合した C 配糖体は、酵素や酸による加水分解を受けないため、安定であることが知られている。本発明は、新規な配糖化酵素を用いて、人工的に糖で二置換された C 配糖体、ならびに、糖で一置換された C 配糖体を効率的に生成させる技術を提供するものである。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来、酵素を利用して人工的に合成された C 配糖体は、いずれも基質に1つの糖が結合した一置換の配糖体である。複数の糖が結合した配糖体、特に基質に二つの糖が結合した二置換の C 配糖体については、配糖化酵素遺伝子の同定を含めて、本発明が最初の報告である。
	本技術の 有用性	本発明により製造する糖で二置換された C 配糖体は、抗酸化物質、誘因物質、摂食抑制物質、甘味料、香料又は抗腫瘍物質などとして、生体内で多様な機能・薬効を発現するので、有効成分として飲食品、医薬品、サプリメント、飼料に含有させた組成物にして、C 配糖体含有製品を調製することができる。
関連情報 (図・表・写真等)		  <p>図 1 .6,8-di-C-glucosyl-2-hydroxypinocembrin 図 2. Nothofagin</p>
適用可能製品		飲食品、医薬品、サプリメント、飼料
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	繊維学部 応用生物科学科 教授 田口 悟朗
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	信州大学研究推進部産学官地域連携課 TEL：0263-37-2087 FAX：0263-37-2149 tech-consult@shinshu-u.ac.jp

■知的財産

特願 2014- 85317

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2014 年 11 月 14 日